

【4】 入学者に関する受入方針および入学者数、収容定員および在學生数、卒業または修了者数並びに進学者および就職者数、その他進学および就職等の状況に関すること

1. 入学者に関する受け入れ方針

本学では、入学を希望される方に対し、本学が望む資質を示すため、次のように入学者の受け入れ方針（アドミッションポリシー）を定めています。

【第一看護学科】

① 「大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか。」

第一看護学科では、卒業後に看護師として従事することを前提に、准看護師から看護師へのステップアップをするために、専門的知識と技術の修得、生命の尊厳を基盤とする倫理観、豊かな人間力を養い、ヒューマンケアを中核としたより実践的な看護の知識技能の修得を図ります。また、チーム医療の中で看護の役割を果たすことができる人材育成を目指します。

この目的のために入学後は、以下の能力の向上を図ります。

- (1) 高いコミュニケーション能力を持ち、深い洞察と倫理観に基づく人間関係を形成する能力
- (2) 身につけた知識と技術をさらに高度なものとし、自発的に目的意識を喚起できる能力
- (3) 自ら考え、なにごとにも挑戦し、最後まで粘り強くやり遂げる能力

② 「入学者に求める能力は何か。」

上記①「大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか。」を踏まえ、以下の意欲・資質を備えた者を入学者として求めています。

- (1) 相手と気持ちを分かち合い、人の痛みがわかる感性を持ち、かつ自分の意見を発信して、人との関係を大切にできる
- (2) 准看護師の基礎的な知識と技術を有し、高い専門性を持ち、努力を惜しまず自己研鑽できる
- (3) 明確な目標をもち、その実現に向かってひたむきな努力を惜しまず、最後までやり遂げることができる

高等学校衛生看護科または准看護師学校養成所で修得しておくことが望ましい科目として、国語の読解力および言語運用能力（国語総合）と数学Ⅰの計算能力があげられます。

また、入学後の学修を円滑にするために基礎看護と人体と看護の科目を修得しておくことが望まれます。

③ 「培ってきたどのような能力をどのように評価するのか。」

第一看護学科の選抜試験では、以下の評価を行います。

- (1) 一般選抜入試では、上記②「入学者に求める能力は何か。」で掲げた科目を中心とする学科試験により基礎学力（知識、思考力、表現力）を評価します。

前期日程においては、小論文と看護専門科目により評価します。また、後期日程においては、看護専門科目と面接により評価します。

- (2) 推薦入試では、小論文および面接により意欲、資質などを評価します。

(3) 社会人入試では、看護専門科目および面接により意欲、資質などを評価します。

面接においては、上記②に関する認識や態度、特に(1)で求められる意思疎通、協調性、自己表現能力、共感能力、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについての資質、それらを身に付ける意欲などを評価します。面接における参考資料として、出身校等の調査書や志望理由書を活用します。(評価全体に占める面接の比率は約 25%)

【第二看護学科】

①「大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか。」

第二看護学科では、卒業後に看護師として従事することを前提に、看護に関する専門的知識と技術の修得、生命の尊厳を基盤とする倫理観、豊かな人間力を養い、ヒューマンケアを中核としたより実践的な看護の知識技能の修得を図ります。また、チーム医療の中で看護の役割を果たすことができる人材育成を目指します。

この目的のために入学後は、以下の能力の向上を図ります。

- (1) 高いコミュニケーション能力を持ち、深い洞察と倫理観に基づく人間関係を形成する能力
- (2) 身につけた知識と技術をさらに高度なものとし、自発的に目的意識を喚起できる能力
- (3) 自ら考え、なにごとにも挑戦し、最後まで粘り強くやり遂げる能力

②「入学者に求める能力は何か。」

上記①「大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか。」を踏まえ、以下の意欲・資質を備えた者を入学者として求めています。

- (1) 相手と気持ちを分かち合い、人の痛みがわかる感性を持ち、かつ自分の意見を発信して、人との関係を大切にできる
- (2) 看護学を学ぶために必要な基礎学力を有し、看護に関心を持ち、努力を惜しまず自己研鑽できる
- (3) 明確な目標をもち、その実現に向かってひたむきな努力を惜しまず、最後までやり遂げることができる

高等学校で履修しておくことが望ましい科目として、国語の読解力および言語運用能力(国語総合)と英語の表現力(コミュニケーション英語 基礎およびⅠ、Ⅱ)、数学Ⅰの計算能力があげられます。また、入学後の学修を円滑にするために、生物基礎の科目を履修しておくことが望まれます。

③「培ってきたどのような能力をどのように評価するのか。」

第二看護学科の選抜試験では、以下の評価を行います。

(1) 一般選抜入試では、上記②「入学者に求める能力は何か。」で掲げた科目を中心とする学科試験により基礎学力(知識、思考力、表現力)を評価します。

前期・中期日程においては、小論文と選択科目1科目(英語コミュニケーション英語 基礎およびⅠ、Ⅱ、数学Ⅰ、生物基礎)により評価します。また、後期日程においては、国語総合と面接により評価します。

- (2) 推薦入試では、国語総合および面接により意欲、資質などを評価します。
- (3) 社会人入試では、国語総合および面接により意欲、資質などを評価します。

面接においては、上記②に関する認識や態度、特に（１）で求められる意思疎通、協調性、自己表現能力、共感能力、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについての資質、それらを身に付ける意欲などを評価します。面接における参考資料として、出身高等学校の調査書や志望理由書を活用します。（評価全体に占める面接の比率は約 25%）

【専攻科】

①「大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか。」

専攻科（地域看護学専攻）では、卒業後に保健師として従事することを前提に、地域・企業・学校などの活動の場において、あらゆる世代やあらゆる健康レベルの個人、家族、さらに集団、組織を対象とした公衆衛生看護活動を展開できるよう、入学後は以下の能力の向上を図ります。

- （１）高いコミュニケーション能力を持ち、深い洞察と倫理観に基づく人間関係を形成する能力
- （２）身につけた看護学をもとに、公衆衛生看護の視点をもって、保健師として自発的に目的意識を喚起できる能力
- （３）自ら考え、積極的な姿勢で、最後まで粘り強くやり遂げる能力
- （４）社会情勢などをみて、物事を客観的に見極め、保健師の役割について考えられる能力
- （５）地域の医療・保健問題の調査研究や問題解決に主体的に取り組める能力

②「入学者に求める能力は何か。」

上記①「大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか。」を踏まえ、以下の意欲・資質を備えた者を入学者として求めています。

- （１）対象者と気持ちを分かち合い、人の痛みがわかる感性を持ち、かつ自分の意見を発信して、人との関係を大切にできる
- （２）看護学に関する基礎学力を有し、公衆衛生看護に関心を持っている
- （３）自己研鑽に努力を惜しまず、最後までやり遂げることができる
- （４）探求心を持ち、主体的に研究に取り組むことができる

入学後の学修を円滑にするために、また、各看護師養成校で修得しておくことが望ましい科目として、看護学（特に公衆衛生看護学）の基礎知識・看護技術があげられます。

③「培ってきたどのような能力をどのように評価するのか。」

専攻科（地域看護学専攻）の選抜試験では、以下の評価を行います。

- （１）一般選抜入試では、上記②「入学者に求める能力は何か。」で掲げた教科を中心とする学科試験により基礎学力（知識、思考力、表現力、文章表現力）を評価します。

前期日程においては、看護学と小論文により評価します。また、後期日程においては、小論文と面接により評価します。

- （２）推薦入試では、小論文および面接により意欲、資質などを評価します。
- （３）社会人入試では、小論文および面接により意欲、資質などを評価します。

面接においては、上記②に関する認識や態度、特に（１）で求められる意思疎通、協調性、自己表現能力、共感能力、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについての資質、それらを身に付ける意欲などを評価します。面接における参考資料として、出身校等の調査書や志望理由書を活用します。（評価全体に占める面接の比率は約 30%）

2. 修業年限および入学定員並びに収容定員、在学生数

(1) 修業年限・入学定員および収容定員

キャンパス	学科名	入学定員	修業年限	収容定員
茨木	第一看護学科	100名（男女共学）	2年	200名
	専攻科（地域看護学専攻）	40名（男女共学）	1年	40名
青葉丘	第二看護学科	80名（男女共学）	3年	240名

(2) 在学生数推移

平成 25 年度から 29 年度までの入学者数及び定員充足率

学科等名称		25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
第一看護学科	入学定員	100	100	100	100	100
	入学者数	95	115	113	115	102
	入学定員充足率（%）	95	115	113	115	102
	収容定員	200	200	200	200	200
	在籍者数	190	196	233	250	227
	収容定員充足率（%）	95	98	117	125	113
第二看護学科	入学定員	80	80	80	80	80
	入学者数	103	103	95	95	96
	入学定員充足率（%）	129	129	119	119	120
	収容定員	240	240	240	240	240
	在籍者数	299	296	281	292	299
	収容定員充足率（%）	125	123	117	122	124
専攻科	入学定員	40	40	40	40	40
	入学者数	40	40	40	41	39
	入学定員充足率（%）	100	100	100	103	97
	収容定員	40	40	40	40	40
	在籍者数	40	40	40	41	40
	収容定員充足率（%）	100	100	100	103	100

(3) 平成 27・28・29 年度 入学者出身地別人数及び割合

年度	平成 27 年度				平成 28 年度				平成 29 年度			
合計人数	248 名				251 名				237 名			
地域別	第一	第二	専攻	合計	第一	第二	専攻	合計	第一	第二	専攻	合計
北海道	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0
東北	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
関東	0	0	1	1	0	0	3	3	0	0	2	2
北陸	0	1	1	2	1	0	0	1	0	0	0	0
中部	7	0	3	10	5	1	1	7	4	0	0	4
近畿	80	92	20	192	80	94	25	199	76	95	24	195
中国	10	2	6	18	9	0	2	11	10	1	3	14
四国	1	0	1	2	4	0	4	8	3	0	2	5
九州・沖縄	15	0	7	22	14	0	6	20	9	0	8	17
合計	115	103	40	258	115	95	41	251	102	96	39	237

(4) 退学者数・除籍者数・中退率及び退学理由

① 退学者数一覧表

	第一看護学科			第二看護学科			専攻科		
	26 年度	27 年度	28 年度	26 年度	27 年度	28 年度	26 年度	27 年度	28 年度
1 年生	11	9	11	13	10	8	0	0	0
2 年生	3	2	6	19	5	6	/	/	/
3 年生	/	/	/	5	5	1	/	/	/
合計	14	11	17	37	20	15	0	0	0

② 除籍者数一覧表

	第一看護学科			第二看護学科			専攻科		
	26 年度	27 年度	28 年度	26 年度	27 年度	28 年度	26 年度	27 年度	28 年度
1 年生	3	3	2	0	0	0	0	0	0
2 年生	0	0	0	0	0	0	/	/	/
3 年生	/	/	/	0	0	0	/	/	/
合計	3	3	2	0	0	0	0	0	0

③ 中退率一覧

	第一看護学科			第二看護学科			専攻科		
	26 年度	27 年度	28 年度	26 年度	27 年度	28 年度	26 年度	27 年度	28 年度
中退率 (%)	8.7	6.0	7.6	12.5	7.1	5.1	0	0	0

※中退率の算出方法 (小数点第 2 位四捨五入)

$$\frac{\text{退学者数合計} + \text{除籍者数合計}}{\text{在籍者数}} \times 100 (\%)$$

④ 退学理由の内容

退学理由	第一看護学科			第二看護学科			専攻科		
	26年度	27年度	28年度	26年度	27年度	28年度	26年度	27年度	28年度
就学意欲の低下	0	2	4	4	3	4	0	0	0
進路変更(他学)	2	0	0	1	11	0	0	0	0
進路変更(就職)	2	2	3	3	1	0	0	0	0
経済的困窮	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学力不足	8	7	11	21	5	9	0	0	0
身体疾患	1	1	0	1	0	0	0	0	0
心神耗弱	2	1	1	4	0	2	0	0	0
海外留学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	1	0	3	0	0	0	0	0
合計	17	14	19	37	20	15	0	0	0

(5) 履修科目の修得状況

(平成29年3月9日現在)

学科	年次	単位修得者数	単位未修得者数 (留年者数)
第一看護学科	1年次	118名	5名
第二看護学科	1年次	113名	4名
	2年次	86名	5名

(6) 卒業後の進路

① 第一看護学科就職状況

(平成29年3月31日現在)

		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
a	卒業生数 (学位授与数)	59		84		106	
b	就職希望者数	54	91.5%	79	94.0%	105	99.1%
c	うち学校で斡旋した就職者数	36	66.7%	43	54.4%	49	46.7%
d	うち自己開拓分の就職者数	18	33.3%	35	44.3%	56	53.3%
e	就職未定者	0	0.0%	1	1.3%	1	1.0%
f	進学・就学準備中	2	3.4%	5	6.0%	0	0.0%
g	進学・留学者	2	100.0%	5	100.0%	0	0.0%
h	進学・留学準備中	0	0.0%	0	0%	0	0.0%
i	その他進路決定	0	0.0%	0	0%	0	0.0%
j	不明・無業者数	3	5.1%	0	0%	0	0.0%

主な就職先(平成28年度卒業生) 藍野病院、藍野花園病院、彦根中央病院等

② 第二看護学科就職状況

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
a	卒業者数 (学位授与数)	73		64		74	
b	就職希望者数	b/a	72 98.6%	62 96.9%	71 95.9%		
c	うち学校で斡旋した就職者数	c/b	12 16.7%	9 14.5%	15 21.1%		
d	うち自己開拓分の就職者数	d/b	59 81.9%	53 85.5%	56 78.9%		
e	就職未定者	e/b	2 2.8%	0 0.0%	0 0.0%		
f	進学・就学準備中	f/a	0 0.0%	2 3.2%	3 4.2%		
g	進学・留学者	g/f	0 0.0%	2 100.0%	3 100.0%		
h	進学・留学準備中	h/f	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		
i	その他進路決定	i/a	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		
j	不明・無業者数	j/a	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		

主な就職先 (平成 28 年度卒業生) 青葉丘病院、藍野病院、北野病院、済生会泉尾病院等

③ 専攻科就職状況

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
a	卒業者数 (学位授与数)	40		40		40	
b	就職希望者数	b/a	35 87.5%	38 95.0%	39 97.5%		
c	うち学校で斡旋した就職者数	c/b	0 0.0%	1 2.6%	0 0.0%		
d	うち自己開拓分の就職者数	d/b	35 100.0%	36 94.7%	35 89.7%		
e	就職未定者	e/b	0 14.3%	1 2.6%	4 10.3%		
f	進学・就学準備中	f/a	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		
g	進学・留学者	g/f	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		
h	進学・留学準備中	h/f	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		
i	その他進路決定	i/a	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		
j	不明・無業者数	j/a	0 0.0%	2 5.0%	1 2.5%		

主な就職先 (平成 28 年度卒業生) 大阪府、神戸市、福岡労働衛生研究所等

(7) 国家試験状況

	看護師免許取得状況						保健師免許取得状況		
	受験者数		合格者数		合格率		受験者数	合格者数	合格率
	第一看護 学科	第二看護 学科	第一看護 学科	第二看護 学科	第一看護 学科	第二看護 学科			
平成25年度	85	90	68	55	80.0%	61.1%	40	38	95.0%
平成26年度	59	71	54	63	91.5%	88.7%	40	40	100.0%
平成27年度	84	64	76	62	90.5%	96.9%	40	39	97.5%
平成28年度	106	74	88	63	83.0%	85.1%	40	39	97.5%

(8) 3ヶ年（平成27年度～29年度）の留学生・社会人・帰国子女・障害者・長期履修学生の受け入れ状況

① 第一看護学科

種別	平成27年度	平成28年度	平成29年度
留学生	0	0	0
社会人	2	9	1
帰国子女	0	0	0
障がい者	0	0	0
長期履修学生	0	0	0

※社会人の定義・・・准看護師免許取得後、入学時において1ヶ年以上の実務経験を有する者

② 第二看護学科

種別	平成27年度	平成28年度	平成29年度
留学生	0	0	0
社会人	11	19	10
帰国子女	0	0	0
障がい者	0	0	0
長期履修学生	0	0	0

③専攻科

種別	平成27年度	平成28年度	平成29年度
留学生	0	0	0
社会人	10	17	10
帰国子女	0	0	0
障がい者	0	0	0
長期履修学生	0	0	0

(9) 海外派遣学生について

平成 20 年度から平成 28 年度までの海外派遣学生は全学科ともない。

(10) 国際交流・社会貢献等の概要

① 社会貢献活動

a) 子育てサロン ～だっこ～

専攻科の活動として、平成 25 年度より地域の母親を対象にして「子育てサロン」を実施している。短期大学部茨木キャンパスを会場とし、母親の居場所を作り、育児不安やストレスからの虐待を予防すること、同じ悩みを持つ母親同士が交流できる場を設けることを目的とした活動である。

スタッフは保健師でもある教員、看護師資格を持つ学生、臨床心理士が身体測定や育児相談、手遊び等を紹介して参加者の支援、交流を行っている。

例年、茨木市や高槻市といった近隣の方々が参加しており、各回のテーマと併せて、毎回身体計測を行い赤ちゃんの発育状態を確認するとともに、保健師資格のある教員や心理学の専門教員による育児相談を行っている。

なお、平成 28 年度より全日程終了後に実施レポートを作成し、本学のホームページにて公開している。

【平成 28 年度 スケジュールと実施結果】

日 程	内 容	参加者
7 月 26 日 (火) 10 : 00 ~ 11 : 45	手作りおもちゃを作ろう	16 組
7 月 29 日 (金) 10 : 00 ~ 11 : 45	赤ちゃん体操	12 組
8 月 23 日 (火) 10 : 00 ~ 11 : 45	赤ちゃんを守ろう(事故予防) 子育てイライラ (解消するには…)	13 組
8 月 26 日 (金) 10 : 00 ~ 11 : 45	絵本を読んでみよう	11 組

b) 健康長寿講座～生き生きと死を迎えるために～

主に高齢者を対象とした市民公開講座として平成 28 年度に第 1 回目を実施した。全 6 回 (1 コマ 90 分) にわたる講座を開講し、看護・医療福祉専門である本学の特色を活かし、予防医学的なプログラムで医療に関する正しい知識を学んでもらい、健康長寿への意識を高めることを目的に実施した。

平成 28 年度受講者は 36 名、そのうち 6 回全ての講座を受講した者は 29 名であった。講座終了後に実施レポートを作成し、本学ホームページに公開及び受講者に送付している。

【平成 28 年度 プログラム内容】

回数	日程	内容
1 回目	9 月 28 日 (水)	開講式・人体の不思議
2 回目	10 月 5 日 (水)	認知症① 認知症サポーター養成講座 子育て、孫育て
3 回目	10 月 19 日 (水)	認知症② 認知症診療の現在と未来
4 回目	11 月 2 日 (水)	介護保険制度と介護予防
5 回目	11 月 16 日 (水)	認知症③ 認知症予防 スリーAプログラム
6 回目	11 月 30 日 (水)	生死と医療－関係性の死を中心に－ ・修了式

② 国際交流

現時点で海外の協定相手校、大学間連携・産官学連携は行っていないので今後の課題である。